

平成31年度 第1回地域づくり推進委員会

平成31年4月22日(月) 13:30~15:00
寒河江市役所1階 議会第4会議室

【出席者(敬称略)】

(委員)

委員 長 立松 潔
委員 浅沼 利行
委員 黒田 良太

(事務局)

事務局長 菅野 英行 副市長
事務局次長 中田 隆行 企画創成課長
事務局 一ノ瀬 佳子 企画創成主査
事務局 大久保 臣悟 企画創成課主任
事務局 荒井 仁志 企画創成課主任

【欠席者(敬称略)】

(委員)

委員 岡部 優子
委員 國井 周

次第

進行：中田課長

- 1 開会
- 2 事務局長あいさつ
- 3 説明・協議
 - (1) 平成30年度事業実施結果について
 - (2) 平成30年度実施事業のさがえ元気づくりAWARD2018地域貢献部門賞への推薦について
 - (3) 平成31年度地域よろず応援事業について
- 4 その他
- 5 閉会

3 説明・協議

(1) 平成30年度事業実施結果について

事務局より実施結果について説明。質疑等なし。

(2) 平成30年度実施事業のさが元気づくりAWARD2018地域貢献部門賞への推薦について

事務局より過去のAWARDの受賞団体及びAWARDの制度自体について説明。例年5団体程度を事務局が予備選考し推薦する形だが、平成30年度は採択されたのが5事業のみだったこともあり事務局での選考はせず、推進委員会において1団体を推薦することを説明。協議の結果、本年度は該当事業なしとなった。

発言者	内 容
A 委員	寒河江流鏝馬大会は3年目だがそれ以外の事業は？
事務局	寒河江流鏝馬大会以外はすべて1年目の事業となっています。
A 委員	従来は3年目ぐらいで推薦されるものが多かったと思うが。
事務局	過去の受賞団体を見ると結果としてそのようになっています。
A 委員	継続して事業が行われ、成果があったということで推薦されたとは思いますが。
C 委員	そうすると、今回は流鏝馬大会が第一候補か。
事務局	昨年、流鏝馬大会は2年目でもう1年あるということで見送った経過があり、今回3年目が終わった形になります。マスコミでの報道を通じて寒河江市のイメージアップになったという考え方もありますが、これまでは実施団体があまり広報に力を入れずに進めてきたということもあり、事務局としてはどうしようか、と決めかねているところです。実施団体では、今後もっとPRしながら大会を大きくしていきたいという考えはあるようです。
A 委員	新たな形で継続されるのであれば、そちらの結果を見てから判断したいという気持ちはある。
B 委員	取り組んでいる方々の熱意とか熱量とか、そういったものはどうなのか。
事務局	これまでの3年間より高まっており、もっと人を集めたいという気持ちがあるようです。これまで広報にそこまで力を入れなくても人が集まったということで、今後はもっとPRして多くの人に見てもらおうように大きな大会にしたいという気持ちがあるようです。
C 委員	新しいこと、何かの工夫とかそういったものをぜひ続けていって、大きくなってもらいたいなど私としては思う。そういう意味でこの3年間で工夫、あるいは意味ある発展といったものがあつたのか教えていただきたいのだが？
事務局	初年度、第1回の際は、今の時期ではなく秋に開催したということがあり、当然9月くらいなので気温もまだ高いということで馬も人も参ってしまったということがありました。2回目から改善し、時期をずらして5月に開催した。その他にも、お子様など来場された方が参加できるイベントとして、乗馬の体験コーナーなどを新たに追加したこともあげられます。来場者数が増加したなどの目に見えた効果はなかったようですが、一定数は毎年必ず来ているということでイベント自体が徐々に定着してきているという話は聞いています。 また、平成30年度についても、プログラムの流れなどを見直したところで、今までは休憩時間を設けず一気に進行していたそうなのですが、今回はタイムテーブルを工夫し、途中出店されているブースだとか、他の体験乗馬などにもお客様が足を運ぶことで会場内の周遊促進を狙い、一定の効果が見られたと聞いています。
A 委員	目標3,000人となっているが、本来それくらいは集められると考えてよいか。
事務局	会場としてもチェリーランドの河川敷というとても広いところであり、馬場としての活用も含め、お客様の観覧スペースも広く作られており、そのように認識しています。
B 委員	写真などを見て思うのだが、会場が広すぎるとパラッとして見えて、人がいてもあまりいないように感じたりする。そうすると、人を呼ぶ効果が薄くなるのではないかな、と思うと

	きがある。米沢の上杉まつりのように河川敷にとんでもないような人がくれば別なのだろうが、もう少しコンパクトな会場で、人の密集度があつた方が注目度も高まるのではないかと。広い方が安全対策上も良いという理由もあるのかもしれないが。
A 委員	大きな会場でパラパラだと何か失敗したのかなと思ってしまうのはある。一般の人はどれくらい集まるのか分からないので。こんな大きな会場でしたのは、大勢集まると思ってやったのだろうが、失敗したのかなと思う人もいるのでは。そこは難しいところか。
事務局	あの会場は、あれでもちょっと狭いと言われています。走るコースは決まっていますが、走った後、ゴールした後のレーンが少ないと言われています。馬なので、少し惰性で走れる距離が必要ということでした。
B 委員	AWARDに決まりましたとあって、市民が納得してくれるかが大事だと思う。我々はそういった基準で選びたいとも思う。
A 委員	今回は流鏝馬を推薦するかどうかの判断ということになるか。今回は推薦を見送るという判断もある。
事務局	寒河江八幡宮のお祭り、祭事に合わせて流鏝馬といった伝統文化がもともとあつた。そこらにはあくまでも行事としてのものだったのをスポーツ流鏝馬として大会化して分かりやすくし、イベントとしての集客、交流人口の拡大といったところは、こちらの流鏝馬大会が中心となって新たな動きを3年で作られたといったところがありますが、事務局としては、この大会はもっと人が来てもいいものなのではないかという気持ちがあります。

(3) 平成31年度地域よろず応援事業について（詳細は別紙「評価シート」参照）

事務局より事業について説明。事業内容への質問の後、15分程度の時間を設け各委員から評価シートに記入。記入後、事務局で評価シートを回収。事務局で記載内容をとりまとめたものを配布。審査結果について協議し、1番から7番まですべての事業を採択相当とした。

発言者	内 容
A 委員	寒南音頭が足掛け2年目となっている。平成24年に1度本制度を活用しているということだが、間が空いたとしても今回を1回目として出してもらうには無理があるということか。
事務局	事務局内でも協議を行いました。同じ地区で同じものを活用しているということ、今回の実施主体は平成24年度に実施した団体とは別団体となっていますが、代表の方が以前に実施したときの中心メンバーとなっており、団体名は違うのだが実態は近いところにあるということで、足掛け2年目と判断させていただきました。
A 委員	今回申請は地域よろず応援事業のみのようだが、地域よろず応援事業はどのような事業なのか。
事務局	地域よろず応援事業は、昨年度の5月～6月の募集で創設・追加された事業で、昨年度は合計3件の申請がありました。市としては、元々地域づくりを応援するために地域いきいき元気づくり事業というものがあって、活力アップ応援事業ということでさらに継続して実施してきたところですが、申請手続きが煩雑であるとか、事業規模も大きく、予算に関しても補助率が10分の10ではないため必ず手持ち資金が必要で取り組みにくいという意見も市民の方からあり、そういった障壁を取り払った上で、新たなきっかけづくり、何でもいので地元の人を巻き込んでとりあえず何かやってみようという意味合いを強くしたものがこの地域よろず応援事業になっています。
A 委員	今回この申請をみると、総事業費と申請額が一致するのは2つくらいで、あとはそれなりに自分たちで集めるようにはなっている。全体的にそんなに大きな事業ではないが、地域それぞれの取り組みを支援するという中身には見合った事業内容ではないかなと思う。

→ 協議後、各委員が評価シートを記入し、審査の結果、申請事業についてすべて採択相当とした。

4 その他

事務局より交付決定後の各事業実施の流れと次回の推進委員会の開催予定について説明。予算が余っているこ

ともあり、5月～6月頃までに追加募集となる二次募集を行う。また、それに関して、今月に行われた町会長の会議において二次募集についての説明を行った旨説明あり。

15:00 閉会

平成31年度 地域の活力アップ応援事業 地域よろず応援事業 評価シート集計表 (1/2)

No.	事業名	交流拡大の効果 (世代間の広がり)	新規性・ 拡充性	今後も継続して事 業を実施すること が見込まれること	ひと・もの文化等 の地域資源を活用 すること	総合評価 (地域の活性化に 資するか)	備 考
1	体育館の新たな活用法 と地区民交流事業	B	B	B	A	B	
		B	B	B	B	B	
		A	B	C	A	A	
2	鹿島Y Y G塾	A	B	A	B	A	
		B	B	B	B	B	
		B	C	B	B	B	
3	ふるさと活性化 交流事業	A	B	A	B	A	
		B	B	B	B	B	
		A	B	A	A	A	
4	寒南音頭で地域づくり 推進事業	A	B	A	A	A	
		B	B	B	B	B	
		B	C	C	B	B	

平成31年度 地域の活力アップ応援事業 地域よろず応援事業 評価シート集計表 (2/2)

No.	事業名	交流拡大の効果 (世代間の広がり)	新規性・ 拡充性	今後も継続して事 業を実施すること が見込まれること	ひと・もの文化等 の地域資源を活用 すること	総合評価 (地域の活性化に 資するか)	備 考	
5	日田地区交流夏祭り	A	B	A	B	A		
		B	B	B	B	B		
		A	B	A	B	B		
6	掲示板を活用した 交流促進事業	B	C	B	A	B		
		B	B	B	C	B		
		B	C	C	C	B		
7	「平塩の塩」 商品化調査事業	B	A	A	A	A		
		B	A	B	B	B		
		A	A	A	A	A		

平成31年度 地域の活力アップ応援事業 地域よろず応援事業 評価シート(自由記述)

No.	事業名	備 考 (その他評価できる点等)
1	体育館の新たな活用法と地区民交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ●他地区にいる人々で柴橋地区として関わりのある人を巻き込むことができる。そのつながりを、新施設完成後も保つ努力をしてほしい。 ●地区民の交流にとって意義のある取り組みであり、今後の地域活性化につながることを期待できる。
2	鹿島Y Y G塾	<ul style="list-style-type: none"> ●大学生～小学生の世代間交流は良いことと思う ●生涯学習・生きがい作りの面で意義はあるが、広がり欠ける。他地区との交流などができないものか。 ●世代間交流への取り組みが注目される。高齢者の活躍とのコラボレーションに期待したい。
3	ふるさと活性化交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ●1年目の集客が150名以上であったのだから、2年目は来場者目標の目線を上げて取り組んでほしい。 ●地域住民と、外に出ているゆかりの人々の交流の場として今後も期待したい。Uターンや移住といった動きへのきっかけになってほしい。 ●帰省客との交流や婚活など地域の交流を幅広く進めようとする点が評価できる。
4	寒南音頭で地域づくり推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●関わる人数の増加が必要。そのうえで、熱意を保つ工夫が求められる。 ●寒南音頭をひとつの目玉として地域内の交流が広がるよう期待したい。
5	日田地区交流夏祭り	<ul style="list-style-type: none"> ●多くの人々、多様な世代が参加できるよう、効果的なPRと声掛けをしてもらいたい。その中で一体感が出るのではないか。 ●夏祭りを交流のための重要なイベントに位置付けている点を評価したい。
6	掲示板を活用した交流促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ●使いやすい掲示板にすることは大切。一方で情報発信であれば、若い世代にも広まる方法も併せて実施してほしい。 ●掲示板の改修をきっかけに地域の交流の活性化にむけた意識の高まりが生まれる可能性に期待したい。
7	「平塩の塩」商品化調査事業	<ul style="list-style-type: none"> ●新規性や他にない唯一の要素を持った商品作りを目指して欲しい。 ●ポイントは、どんな塩を目指すのか。背景を含めた「ストーリー」がほしい。 ●平塩の塩を重要な地域資源として位置付けた点は大変興味深い。今後の地域活性化への貢献に期待したい。